

# Istanbul Weekly vol.4-no.37

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年10月9日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治**：エルドアン大統領が訪日。  
通常国会が開会するも、選挙戦に突入。
- 経済**：9月の消費者信頼感指数、2009年1月来の最低値。  
IMF、トルコの経済成長見通しを下方修正。
- 治安**：ガズリアンテップ県でISILの造幣工場を捜索。
- 軍事**：ロシア軍機がトルコ領空を侵犯、トルコ空軍機がスクランブル。
- 社会**：イスタンブールには5年以内に発電所の新設が必要。  
自動車保険料が値上がり。

### 政治

#### 【日本との関係】

#### ●エルドアン大統領が訪日

(1)10月4日から、エルドアン大統領は、フランス、ベルギー、日本の3カ国を外遊する。7日からの訪日期間中、同大統領は、天皇陛下御会見の他、安倍総理と会談する予定。(10月3日付S紙インターネット版他)

(2)7日、エルドアン大統領は日本に到着した。羽田空港で中山外務副大臣他に出迎えられた同大統領は、エミネ夫人とともに東京モスクを訪問し、礼拝に訪れたトルコ人らと懇談、記者団に対し、「イスラムは平和の宗教だ」等と述べた。同大統領は8日、早稲田大学での名誉博士号授与式の他、天皇陛下との御会見、安倍総理との会談・夕食会等が予定されている。(10月8日付S紙18面)

#### 【内政】

#### ●各党が候補者リストを提出

総選挙に向けた候補者リスト提出が締切を迎えた9月18日、各党は、立候補者リストを高等選挙委員会に提出した。AKPは、ババジャン前副首相、チャヴシュオール外相を始め、党の4選禁止規定によって6月7日総選挙に出馬しなかった大物閣僚が復帰した。CHPは数名を除いて6月総選挙とほぼ同様の顔ぶれ。MHPは、アクシェネル元国会議長など有力議員が候補者リストから外れた。(9月19日付H紙1面)

#### ●通常国会が開会するも、選挙戦に突入。

10月1日、通常国会が開会されるも、11月1日の総選挙のため、同日中に休会となり、選挙戦に突入した。開会式では、HDP議員がエルドアン大統領入場の際に起立で迎えることをせず、同大統領の開会挨拶の際にもクルド政策への抗議のために退席した。(10月2日付M紙1面)

#### ●各党、選挙公約を発表、選挙戦が開始

10月4日、AKPは、11月1日総選挙に向けた公約を発表。

「団結・平穏・友好」をモットーに掲げて過半数を目指すことを表明。CHP(9月30日)、MHP(10月3日)、HDP(10月2日)もそれぞれ選挙公約を発表し、本格的な選挙戦が開始された。(10月5日付S紙1面他)

#### 【外交】

#### ●エルドアン大統領、ロシアを訪問

9月23日、エルドアン大統領は、ロシアを訪問し、モスクワ中央モスクのオープニングに出席した他、プーチン大統領と二国間経済関係や地域情勢等について会談した。同大統領は、帰途の機中で記者団に対し、シリア情勢について、アサド政権の継続は容認できないとしつつ、「シリアの正常化までの移行期間中の同政権の存在は認めうる」と述べた。(9月24日付H紙18面)

### 経済

#### 【マクロ経済】

#### ●9月の消費者信頼感指数、2009年1月来の最低値

統計庁と中央銀行が実施している消費動向アンケート結果から計算された9月の消費者信頼感指数は、前月比6.1%下落し58.52となった。世界的な金融危機の影響が最も大きかった2009年1月以来の最低値。(9月22日付HD紙10面)

#### ●IMF、トルコの経済成長見通しを下方修正

IMFは、6日に公表した世界経済見通しで、2015年経済成長率見通しを、7月の予測を0.2%下回る3.1%に下方修正した。トルコについては、2015年見通しを3.1%から3%に、2016年を3.6%から2.9%にいずれも下方修正。新興・途上地域経済は、原油安やユーロ圏の段階的な回復による恩恵を受けている一方で、ロシアにおける経済の後退や依然として高い企業債務の投資への影響を受けており、後者(企業債務)が政治不信とともに、トルコの国内の需要の重荷になることが予想されるとしている。(10月8日付HD紙10面等)

## 【経済政策】

## ●文化観光省、新たな観光業支援プログラムを発表

文化観光省は、主にロシアや近隣諸国の経済問題に起因する観光業の損失を支援するプログラムを発表。ロシア、イラン、ウクライナ等の13カ国からの旅行者をチャーター便で運ぶ旅行代理店に対して、飛行機1便ごとに6,000ドルの補助金を交付する。(9月28日付HD紙11面)

## ●トルコ、2015年に3億5000万ドルのTV番組輸出を計画

TV業界関係者によると、トルコは2015年に3億5000万ドルのTV番組を輸出する計画。現在、トルコは中東から東ヨーロッパまで80カ国以上にTV番組を輸出。経済省は2023年までに10億ドルの輸出を達成することを目標としている。(10月7日付HD紙10面)

## ●トルコの国産電気自動車開発

ウシュク科学産業技術相によると、トルコは初の国産電気自動車販売に向けて開発を進めており、来年には30~40台の車をテストする予定。2020年までには大量生産を開始する計画。(10月8日付HD紙10面)

## 【企業の動き】

## ●ユルドゥズ・ホールディング、飲料部門をダイドーに売却

トルコ食品最大手ユルドゥズ・ホールディングは、飲料製造子会社3社の株式の90%をダイドーに売却することを決定。昨年英ユニテッド・ビスケットを買収し、ゴディバ社等を買収して傘下に持つ同社は、今後は菓子部門に特化したいとして今回の飲料部門売却に至った。(9月29日付HD紙11面等)

## ●トファッシュ、トルコでフィアット新モデル生産開始

トファッシュは28日、フィアットの新モデルの生産を開始。同モデルは、ヨーロッパ、中東及び北アフリカの40カ国以上に輸出される予定。(9月30日付HD紙11面)

## ●GSユアサ、Inci Akuの株式取得完了

7日、GSユアサはInci Akuとの協力で最終合意、Inci Akuの発行済株式の50%の取得を完了した。同社は、鉛蓄電池のトルコ国内における販売拡大や、中東、北アフリカ等への輸出拡大を目指す。(10月7日付Dunya紙17面等)

## 治安

## ●シュルナック県で村落警護員がPKKに殺害される

9月21日、シュルナック県シロピ郡で、村落警護員2名が市場で買い物をしていたところ、PKKとみられる覆面を被った男達に銃撃され、死亡した。(9月22日付HT紙16面)

## ●マルディン県で600キロの爆薬を積んだ自動車爆弾を押収

9月22日、マルディン県アルトゥクル郡で、自動車爆弾情報がもたらされたことを受けて実施した警察によるオペレーションの結果、600キログラムの爆弾を積載した自動車が押収された。同車両は警察により爆破され、負傷者等はなかった。(9月23日付HT紙12面)

## ●PKKが路肩爆弾(IED)攻撃、兵士13名負傷

9月22日、ヴァン県バシユカレ郡で軍の車列が通過中に路肩爆弾(IED)が爆発し、車両に乗車していた兵士13名が負傷。(9月23日付HT紙12面)

## ●PKK攻撃で兵士2名死亡

9月25日、参謀本部は24日夜と25日早朝にシュルナック県において、PKKの攻撃により兵士2名が死亡したと発表。(9月25日H紙インターネット版)

## ●シリア難民船が沈没、17名が死亡

9月27日早朝、沿岸警備隊は、トルコのボドルムから、ギリシャ領レロス島へ出港しトルコ沖約3キロで沈没した木造船から17名の遺体を回収した。死亡したのは沈没時、船体から脱出できなかった人々とみられ、8メートルの船体の船に37名が乗船し、船のデッキ上においてライフジャケットを着けていた20名はトルコ海岸まで泳いで渡り、助かった。(9月27日H紙インターネット版)

## ●当局薬物押収量発表

薬物犯罪捜査当局は、2014年初頭から現在まで6万3000件の薬物捜査を実施し、約10万人を拘留し、104トンの薬物を押収したと発表。(9月28日付HT紙4面)

## ●病院配置警察官2名がPKKに撃たれ死亡

9月28日、アダナ県ジェイハン郡で、病院に配置されている警察官が、勤務を終えて病院を出たところで、PKKにライフルで撃たれ、2名の警察官が死亡した。(9月29日付HT紙13面)

## ●PKKの警察署攻撃で子供1名死亡

9月28日、ディヤルバクル県において、PKKが警察署を狙って発射したロケット弾が警察署近くの民家に着弾し、家の中にいた8歳の子供1人が死亡。(9月29日付HT紙13面)

## ●警察幹部密輸で逮捕

社会サービスを担当する警察幹部が、外国から帰国した際、空港税関において、スーツケースの中に200台の携帯電話を隠し持っていたとして逮捕された。9月30日付HT紙4面)

## ●ハッキヤリ県とバトゥマン県で路肩爆弾攻撃

9月29日、ハッキヤリ県シムディンリ県で、PKKが設置した路肩爆弾で兵士2名が死亡。同日、バトゥマン県コズルクでも、PKK設置の路肩爆弾で警察官1名が死亡。(9月30日付C紙12面)

## ●イラクで誘拐されたトルコ人解放

9月30日、先月イラクのバグダッドで誘拐されたトルコ人労働者等16名がバスラで解放され、トルコに帰国、ダーヴトオール首相が空港で出迎えた。事件の背景等詳細については不明なまま。(10月1日付HT紙14面)

## ●南東部2県で兵士合計3名PKKに殺害される

1日、ディヤルバクル県の市中心部で、車で職場に向かっていた兵士2名がPKKの銃撃を受け死亡した。また、シュルナック県のバイトウシュセバブ郡で、路肩爆弾により兵士1名が死亡。(10月2日付C紙7面)

## ●PKKとの衝突で兵士1名死亡

1日、マルディン県のヌサイビン郡でジャンダルマ(軍警察)とPKKとの衝突が発生し、戦闘中に兵士1名が死亡。(10月2日付HT紙13面)

## ●PKKとの戦闘で、市民2人が巻き添えで死亡

1日、シュルナック県ビスミル郡で、警察とPKKとの戦闘中に、PKKが使用した手製手榴弾が爆発し、市民2名が死亡した。(10月2日付HT紙13面)

## ●PKKが風力発電所を爆破

5日、オスマニア県サンバトリ郡において、PKKが風力発電所を爆破。さらに、駆けつけたジャンダルマ(軍警察)と交戦となり、ジャンダルマ兵士1名が死亡。(10月6日付C紙20面)

## ●ガーズィアンテップ県でISILの造幣工場を捜索

7日、ガーズィアンテップ県中心部において、県警察がISIL関係先へのオペレーションを行ったところ、同所はISILが独自に発行する貨幣の造幣工場と共

に、貨幣を造るための型が押収された。(10月8日付HT紙14面)

## 軍事

### ●トルコ空軍、北イラクのPKKを空爆

9月22日、トルコ空軍は、北イラクに所在するシナットとハフタヌンのPKKキャンプに対して空爆を実施した。(9月23日付HT紙12面)

### ●トルコ空軍、ハッキヤリ県で空爆

9月30日、トルコ空軍はハッキヤリ県ダールジャの山岳地帯のPKK拠点24か所への空爆を実施した。(10月1日付HT紙14面)

### ●空軍司令官が戦闘機でパトロールと米国の空爆支援を実施

アビディン・ウナル空軍司令官が自ら戦闘機に搭乗し、シリア国境沿いの通常パトロール飛行と米国の空爆の支援活動を実施した。(10月2日付HT紙13面)

### ●ロシア軍戦闘機がトルコ領空侵犯、トルコ空軍機がスクランブル

4日、ロシア軍のMIG-29戦闘機が、トルコ領空を侵犯し、トルコ空軍のF16が緊急発進した。トルコ側は、駐トルコ・ロシア大使を外務省に呼び出し、猛烈に抗議したのに対し、ロシア側は「戦闘機のナビゲーションシステムの故障であり、意図的では無い。」と釈明。だが、5日にも再度、MIG-29と見られる国籍不明機によるトルコ領空侵犯が発生。

エルドアン大統領、ダーヴトオール首相は共にロシアに対して、「トルコは毅然と必要な措置を取る」、「ロシアは、トルコとの友好関係を失う愚かな選択をしている」と強い調子で批判を続けている。(6日付C紙13面)

### ●参謀総長が軍の都市部への投入に否定的発言

アカル参謀総長は、先月のシュルナック県シズレの都市部での軍の作戦を受け、「都市部でのテロリストの掃討は、基本的に都市での作戦に慣れた警察やジャンダルマ(軍警察)によって、担われるべきである。陸軍は、都市部で民間人に被害を与えないような作戦に慣れておらず、テロリスト以外に不必要な被害が発生する可能性がある。陸軍が市街地のオペレーションに投入されるのは最後の手段であるべき。」と発言。(10月6日付C紙13面)

## 社会

### ●イスタンブールには5年以内に発電所の新設が必要

電力生産株式会社(EUAS)のハリル・アルシュ社長は、イスタンブールでの電力消費量が増加し続ければ、5-6年後に電力不足となる可能性があり、発電所の新設が必要であると述べた。イスタンブールとトラキア地方の電力消費量は、トルコ全体の5分の1を占めており、イスタンブールでは昨年度、合計331億7400キロワットの電力が消費された。現在ボスポラス湾を通じてアジア側からヨーロッパ側への電力供給は十分ではなく、一時的な対策として、チャナッカレからヨーロッパ側に向けて二つの海底ケーブルの建設を行っている。(9月18日付HT紙21面)

### ●自動車保険料が値上がり

今年1-6月にかけて自動車保険料が昨年比10%上昇し、8月には為替変動により損害額がおおよそ2倍にも増加した影響を受け、保険料が昨年比30%も上昇している。専門家は、今後自動車保険料は更に上昇する可能性がある」と指摘。また、トルコ保険協会(TSB)の会長であるラマザン・ウルゲ

ル氏は、為替変動の影響を受けて、今年6月以降保険業界は120億リラの損失を受けた事を明らかにした。(9月21日付H紙14面)

### ●トルコのiPhone、再び世界最高価格

アップル社が9月12日に先行販売する、最新のスマートフォンiPhone6sとiPhone6s Plusについて、各国での販売価格が明らかになった。最安販売価格はアメリカで、iPhone6sが1,961リラ、iPhone6sPlusは2,264リラで販売される予定。一方で、現在トルコ国内でiPhone6が2,699TL、iPhone6sPlusが3,099TLから販売されていることから、最新モデルの販売価格はiPhone6sで3,000リラ、iPhone6sPlusで3,300リラと予測されている。(9月22日付HT紙9面)

国名	iPhone6s	iPhone6s Plus
トルコ	3000	3300
フランス	2539	2911
中国	2511	2888
ドイツ	2506	2879
イギリス	2511	2833
日本	2175	2473
アメリカ	1961	2264

### ●バイラム中の渋滞

9日間のバイラム休暇の最終日、道路は渋滞し、フェリポート乗り場への車の列は何キロメートルにも及び、イスタンブールへの帰路は大混雑となった。公共交通機関を選択した市民も、バス乗り場でも何キロもの行列に並び、多くの時間を費やした。一方で、休暇期間中は交通事故が多発し、期間中の交通事故死者数は139人に上り、656人が負傷した。(9月28日付HT紙3面)

### ●危険なバス停ワースト20

アンカラで12人が犠牲になったバス停での事故の後、イスタンブールのバス停について専門家が警鐘を鳴らしている。専門家が、バス停の位置等が明らかに危険であり、事故が発生し得る危険なバス停を指摘した。ヨーロッパ側では、メジディエキョイ、タルラバシュ、ベイリクドウズ、カバタシュ、アヴジュラル、シリニエヴレル、イエニボスナ、パンガルト、シシハネ、ハセキ、タクシム・トゥネルが挙げられ、アジア側では、ペンディック橋、ハラミデレ、イエニ・サフラ、ウズンチャユル、ギョズテペ、ソウトウルチェシュメが危険なバス停であると指摘されている。(10月7日付HT紙20面)

### ●鳥インフルエンザと為替の影響で、卵が値上がり

9月に食料品の中で卵の価格が最も値上がりした。先月比15.21%値上がりとなり、ドルとユーロ高騰の為に飼料代が上昇したことが原因の一つである。また、現在42カ国で鳥インフルエンザが発生しており、4カ月前にもトルコ国内で発生が確認され、1280万匹の鶏が処分された。この殺処分による生産量の低下も値上がりの要因の一つとして挙げられる。(10月8日付H紙8面)



注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
işİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。  
[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.10.8 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	2件	6件	0件	2件	2件	15件	1件	7件

●今週は、靴の盗難1件、iPhoneの盗難1件、ぼったくりバーの被害2件、高額銃弾購入相談が1件ありました。

★当館HP更新のお知らせ★

- 行事報告：鬼太鼓座和太鼓コンサート「鬼魂一打～Ki-Kon-Ichi-Da～」NEW
- トルコ危険情報(10/06)
- バングラデシュにおける邦人殺害事件の発生に伴う注意喚起(10/06)
- 2016年度日本人学校入学説明会の開催について(09/16)

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。